



2020年3月11日

各 位

会 社 名：株式会社SKIYAKI
代表者名：代表取締役社長 宮瀬 卓也
(コード番号：3995 東証マザーズ)
問合せ先：取締役 酒井 真也
(TEL：03-5428-8378)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年3月15日の2019年1月期通期決算発表時に開示した2020年1月期（2019年2月1日～2020年1月31日）の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2019年2月1日～2020年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,700 ～5,200	230 ～350	200 ～330	105 ～215	9.81 ～20.52
今回修正予想（B）	4,899	99	25	△59	△5.60
増減額（B－A）	199 ～△300	△130 ～△250	△174 ～△304	△164 ～△274	—
増減率（％）	4.2 ～△5.8	△56.5 ～△71.4	△87.0 ～△92.1	—	—
（ご参考）前期実績 （2019年1月期）	4,084	229	172	79	7.69

2. 修正の理由

（売上高及び営業利益）

前回発表予想（2019年3月15日）に対し、ファンクラブ（FC）サービスにおける有料会員数が堅調に増加したこと等により、売上高は概ね前回予想時の想定内となる見込みである一方で、販売費及び一般管理費のうち、決済代行業者が提供するFC及びECサービスの決済システムについて、別事業者へのシステム切り替えにより手数料率が相当程度下がる計画であったものの、実際は既存案件に係るFC及びECサービスの決済システムの切り替えが進まず、想定よりも手数料率が下がらなかったことにより、決済手数料が80百万円増加（前回予想比、以下同様。）する見込みであること、自社サービスプラットフォームに係るシステム開発を中心とした業務委託費が30百万円増加する見込みであること、連結子会社が計上する一部営業債権について回収可能性に疑義が生じており、貸倒引当金繰入額49百万円を計上する見込みであ

ること等により、営業利益が△130～△250百万円減少し、99百万円となる見込みであります。

(経常利益)

上記営業利益の減少に加えて、持分法適用関連会社の投資に係るのれん相当額を減損処理したこと等により、持分法による投資損失が84百万円発生する見込みであるため、経常利益が△174～△304百万円減少し、25百万円となる見込みであります。当該持分法による投資損失の詳細については、本日(2020年3月11日)公表いたしました「投資に関する営業外損失及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

上記経常利益の減少に加えて、特別損失として、連結子会社における事業譲受に係るのれん及び連結子会社の取得に係るのれんをそれぞれ減損処理したことによる減損損失23百万円等を計上する見込みであるため、親会社株主に帰属する当期純利益が△164～△274百万円減少し、親会社株主に帰属する当期純損失△59百万円を計上する見込みであります。当該のれんの減損損失の詳細については、本日(2020年3月11日)公表いたしました「投資に関する営業外損失及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

以上より、2020年1月期の通期業績予想について、売上高4,899百万円、営業利益99百万円、経常利益25百万円、親会社株式に帰属する当期純損失△59百万円に修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上